

冒険家の三浦雄一郎氏が、最高齢での世界最高峰エベレスト登頂に成功した。正に快挙である。年はとつても、目標をもち努力すれば、若い者以上の成果を出すことができることの 証明だ。小生もかくありたいものだ。

#### 1 所謂従軍慰安婦問題と橋下市長の発言について

橋下市長の発言に中韓のみならずその他の国々或いは国内でも反発が広がっている。彼等と冷静な議論など望むべくもない。本来であれば、日韓で事実関係を調査確認する作業が必要だが、彼等が歴史に政治を持ち込むことが見え見えだ。無視すれば良いかと云うとそういう訳にもいくまい。であるならば、日本は主張すべきを堂々と主張すべきだろう。何時までも言われっぱなし、受け身だけでは、日韓関係は一向に改善はすまい。

橋下市長は正論を述べたと思うが、(述べるのが政治的にどうであったかは問題だが・・)、彼の発言に対するヒステリックな反応には驚かされる。

今は、発言・発信を封じている首相だが、何れ堂々と河野談話の見直しを含め日本の主張を発信して欲しいものだ。韓国主要紙記者の“原爆は日本に対する懲罰”との発言には、論評する気も起きない。

日本は四面楚歌の感があるが、何時までも現状を容認する訳にはいくまい。中韓の歴史認識等に関する国際社会への発信力には、瞠目すべきものがある。日本は後塵を拝して居ると云っても過言ではない。

#### 2 中国の荒唐無稽なる沖縄・尖閣発言

中国の李克強首相がドイツのボッダムで、尖閣諸島は日本が盗み取ったものであり返還すべきとの発言をし、軍の高官が沖縄も中国領と発表するなど、荒唐無稽、歴史的事実をも 無視した発言を繰り返している。

何をどう解釈すればあのような発言になるのか理解に苦しむが、事実無根であっても何れ力づくでも奪取し、既成事実化を図る深謀遠慮だろう。その布石を打っているのだろう。日本は、中国の深謀遠慮をしっかり認識して対応に遺憾なきを期すべきだろう。

#### 3 なりすましメール事件顛末

実存する防衛省のある部局の、実存する役職及び実在の個人名で小生宛に添付ファイル付の不可思議なメールが送られてきた。可笑しいなとは思いつつも、添付ファイルを覗いて 見ようとしたが、開けなかった。メールに記載されていた差出人のK氏にメールしたところ、あろうことか、その人はそのようなメールには覚えがないというではないか。

K氏と電話で話したところ、類似のような内容のメールを幾人かに送ったことはあるとの事だったが、小生には送っていないとのことで、成りすましメールであったことが判明した次第である。添付ファイルが、開けなくて幸いだった。

なりすましメールは、開封しないことが原則だが、気をつけねばならない。初めての体験ではあるが、小生にまで送りつけるかと怒り心頭に発した次第である。

#### 4 親つる摘芯の驚くべき効果

山下農園で小玉西瓜に挑戦中である。今のところ順調である。子蔓を伸ばして、それに1, 2個の西瓜を結実させるのが 基本だそうだ。先日、親蔓を摘芯したところ子蔓が数本伸びてきた。自然は、不思議なものだ。教科書は矢張り正しい！！